

西日本フィナンシャルホールディングス

西日本FH

ミニディスクロージャー誌
平成28年9月期

平成28年4月1日～平成28年9月30日

TAKE FREE



特集1

西日本フィナンシャル ホールディングス、誕生。

特集2 地域にミッチャク! 博多編

博多三大祭のひとつ・放生会

西日本フィナンシャル ホールディングス、誕生。

平成28年10月3日、

西日本フィナンシャルホールディングス
(金融持株会社)が誕生しました。

私たちは、お客さまと地域の未来のために、
グループの力を結集し、期待を超えた

総合金融サービスを提供してまいります。

これからも西日本フィナンシャル

ホールディングスグループにご期待ください。



西日本フィナンシャルホールディングス

西日本FH

ミニディスクロージャー誌 平成28年9月期 [平成28年4月1日～平成28年9月30日]

C o n t e n t s

- 03 ごあいさつ
**総合力NO.1の
地域金融グループを目指して**
- 05 特集1
**西日本フィナンシャル
ホールディングス、誕生。**
- 11 特集2
**博多三大祭の
ひとつ・放生会**
- 15 新しい支払いの
カタチ、できました。
- 17 海外ビジネス
サポートへの取組み
- 19 子どもたちの未来を
社会で育もう。
- 21 CSR
- 23 業績ハイライト
- 25 安心に向けた取組み
- 26 企業プロフィール・ネットワーク



総合力No.1の地域金融グループを目指して

西日本ファイナンシャルホールディングス
代表取締役社長
西日本シティ銀行
代表取締役頭取
谷川 浩道

株式会社西日本ファイナンシャルホールディングス



皆さまには平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。平成28年10月3日、西日本シティ銀行グループは、西日本ファイナンシャルホールディングスグループとして新たにスタートしました。

かねてより、私たちは、特長あるグループ各社の機能強化や組織再編に取り組み、おかげさまで各社の業容は順調に拡大しております。一方、グループを取り巻く経営環境は、かつてないほど速いスピードで大きく変化し続けております。

こうした状況の下、各社の特長・強みの

発揮に向けてグループ内の結束・連携を一層強化し、将来のさまざまな環境変化やリスクに適切に対応するため、私たちは、持株会社体制へ移行し、新たな経営管理体制を構築することとしました。

当社グループでは、グループ経営戦略として、「お客さま・地域の期待を超えた総合金融サービスの展開」(「マーニングクス・マネジメント」の実現)と、「グループ経営管理態勢とリスク管理態勢の高度化」

(「平二タリング・モデル」の実現)を展開することにより、グループ総合金融力を一段と進化させ、「地域経済へのさらなる貢献」と「グループ企業価値の最大化」を目指してまいります。

わが国の経済と 九州経済の概況

平成28年度上期のわが国経済は、個人消費にやや弱い動きが見られましたが、雇用情勢の改善や設備投資の持ち直しなどにより、総じて景気は緩やかな回復基調が続いております。

当社グループの地元である九州地域の経済も、熊本地震による鉱工業生産への影響が見られたものの、雇用情勢の改善などにより、景気は緩やかな回復基調が続いております。

地域経済の発展に向けた 「企業まるごとサポート」

法人のお客さまのライフサイクルに応じたさまざまなニーズを起点に、「企業まるごとサポート」をコンセプトとして、地場産業の育成、成長分野への支援など、地域経済の発展に資する最適なサービスの提供に努めてまいりました。

創業支援については、平成28年2月に「NCFB創業応援サロン」を新設し、同年

9月末時点で創業カウンセラーを15名置いています。これらの取組みに加え、創業応援ローンの創設や商工会議所等との連携強化、創業支援セミナーの開催等の取組みを行いました。

販路拡大支援については、大手マッチングサービス企業との業務提携や技術マッチング支援セミナーの開催に取り組みました。

海外ビジネス支援については、グループの枠組みを超えて、西日本シティ銀行が横浜銀行と「海外ビジネス支援業務」における基本合意書」を締結し、両行が有する海外拠点を活用し合う相互補完関係を築くことにより、より広範囲な支援を行うことが可能となっています。

お客様目線に立った 「人生まるごとサポート」

世代やライフスタイルの違いに応じて、「人生まるごとサポート」をコンセプトとした最適なサービスの提供に努めてまいりました。

決済については、ATMでの本支店間振込に関して、九州地銀で初めて、平日夜間や休日でも相手先口座への即時振込を可能としています。

また保険については、福岡県内初となる店舗については、機能強化を図るべく、2か店の統廃合と3か店の建替えを行いました。

また、西日本シティ銀行では、東海崎支店・鹿児島支店(熊本支店・宮崎支店)の営業権を譲り受け、営業拠点を拡大いたしました。

東京証券より南九州3か店(熊本支店・宮崎支店・鹿児島支店)の営業権を譲り受け、店舗についても機能強化を図るべく、じきますので、西日本ファイナンシャルホールディングスグループを末永くご愛顧いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

また、西日本シティ銀行では、東海2か店の統廃合と3か店の建替えを行いました。

東京証券より南九州3か店(熊本支店・宮崎支店・鹿児島支店)の営業権を譲り受け、店舗についても機能強化を図るべく、じきますので、西日本ファイナンシャルホールディングスグループを末永くご愛顧いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

チャネルのさらなる充実

これからも引き続き、地域に根ざしたペット保険の取扱いを開始しました。

総合金融グループとして、時代の変化を先取りし、熱い「ノハロ」でお客さまの期待を超える「コタエ」を提供していく決意でございますので、西日本ファイナンシャルホールディングスグループを末永くご愛顧いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

ICTの活用

平成27年3月に取扱いを開始した「西日本シティ銀行アプリ」は、さまざまな機能拡充を図った結果、平成28年9月末時点では19万ダウンロードを超えるなど、幅広くお客様のご支持をいただいております。

また、営業店においては、九州初となる印鑑レス取引を可能とする営業店端末や、提案商品を画面に自動表示するタブレットなど、最新鋭のシステムを全営業店に配備しております。

地域に根ざした 総合金融グループとして

当社グループのブランドスローガンは持株会社体制のもとでも変わらず、「窗口がある。コタエがある。」としております。



西日本ファイナンシャルホールディングス、誕生。

「地域経済へのさらなる貢献」と「グループ企業価値の最大化」を目指していきます。

持株会社体制へ 移行する背景・目的

西日本シティ銀行グループでは、これまでグループ総合金融力の強化を図つてきましたが、その結果、各社の業容は順調に拡大しています。一方、金融機関を取り巻く経営環境は、めまぐるしく変化し続けています。このような状況を踏まえ、各社の特長・強みの發揮に向けてグループの連携を一層強化し、将来のさまざまな環境変化やリスクに適切に対応するために、持株会社体制へと移行し新たなグループ経営管理態勢を構築することになりました。

これからも、地域に根ざす総合金融グループとして、本持株会社体制のもとでグループ総合金融力を一段と進化させ、「地域経済へのさらなる貢献」と「グループ企業価値の最大化」を目指します。

西日本シティ銀行グループのこれまでの取組み

H18.12	NTTデータNCBの設立
H20.9	九州債権回収の連結子会社化
H22.5	西日本シティTT証券の設立
H26.12	長崎銀行の完全子会社化、九州カード・九州債権回収の持分比率引上げ
H27.2	西日本信用保証の完全子会社化
H27.3	連結納税制度の導入（西日本シティ銀行・長崎銀行・西日本信用保証）
H28.8	西日本シティTT証券が東海東京証券 南九州3か店の営業権を譲受
H28.10	持株会社設立

持株会社体制へ移行

環境変化への対応

経済・社会環境

- ▶内外経済の不透明さ
- ▶人口減少・超高齢社会
- ▶ICTの進展など

地域・お客さま

- ▶お客さまの価値観・ライフスタイルの変化など

グループ総合金融力の進化

- お客さま・地域の期待を超えた総合金融サービスの展開（マトリックス・マネジメントの実現）
- グループ経営管理態勢とリスク管理態勢の高度化（モニタリング・モデルの実現）

政策動向

- ▶金融緩和政策
- ▶銀行法等改正など

競争環境

- ▶異業種の銀行業参入
- ▶地銀再編の進展など

地域経済へのさらなる貢献

グループ企業価値の最大化

[グループ経営理念]

私たちは、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループを目指します。

[グループブランドスローガン]

ココロがある。コタエがある。

[シンボルマーク]

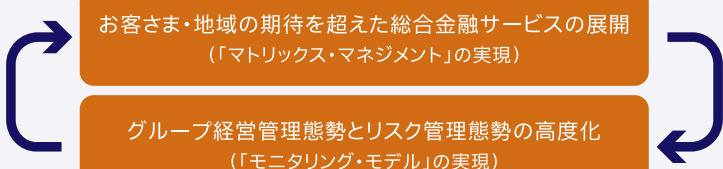
このシンボルマークは、未来を拓くエネルギーである「太陽」と、躍動感あふれる「羽」をモチーフとしています。放射状に伸びる羽は、無限に広がる未来を表現しています。さらに、淡いオレンジから深いオレンジへと変化を重ねる姿には、西日本FHグループを未来に向けて進化・変革させていくという決意が込められています。



グループ経営戦略

持株会社体制においては、「お客様・地域の期待を超えた総合金融サービスの展開」(「マトリックス・マネジメント」の実現)と「グループ経営管理態勢とリスク管理態勢の高度化」(「モニタリング・モデル」の実現)の2つのグループ経営戦略を開発します。

[マトリックス・マネジメント] お客様毎のニーズを起点として、持株会社がグループ全体を見渡した戦略を開発すること。



[モニタリング・モデル] 持株会社が子会社の事業執行状況を継続的に把握しながら、子会社に対する監督機能を発揮すること。

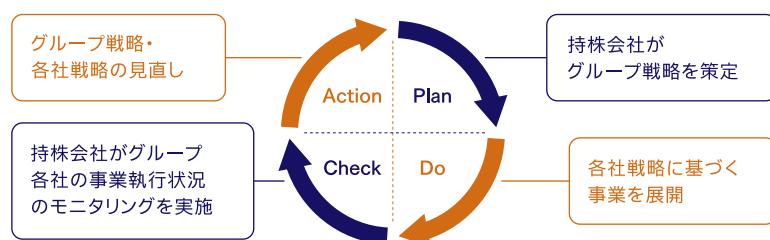
グループガバナンス態勢

持株会社体制においては、持株会社を監査等委員会設置会社とし、ガバナンスの強化および迅速かつ効率的な意思決定体制の構築とともに、経営監督と事業執行の分離によるグループ経営管理の高度化を図り、実効性の高いグループガバナンス態勢を構築します。

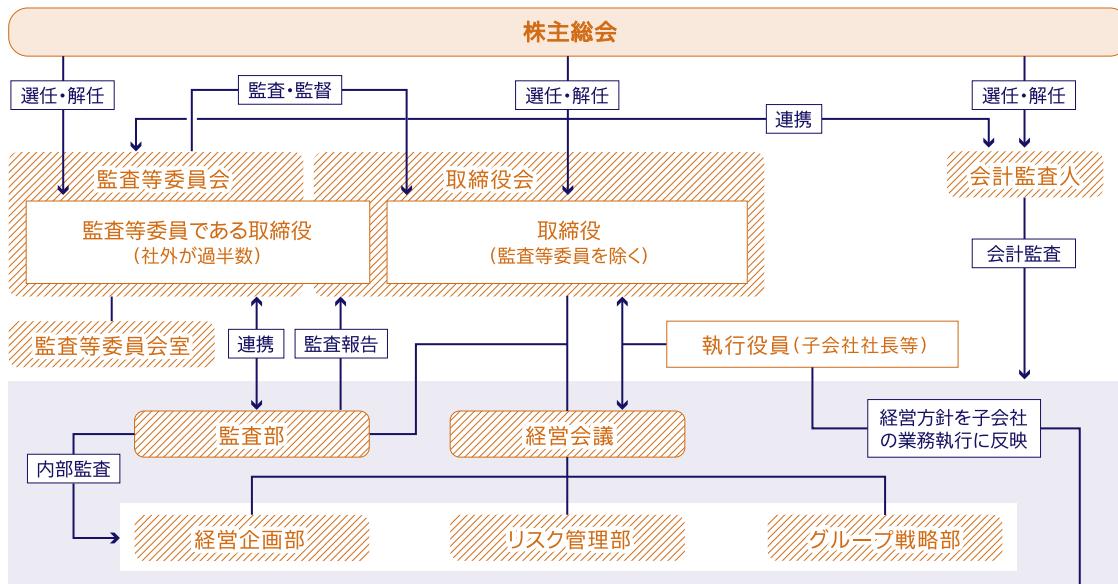
持株会社を監査等委員会設置会社とし、ガバナンスの強化に加え、重要な業務執行の権限委譲による迅速かつ効率的な意思決定体制の構築を図る。

持株会社が経営監督に特化し、グループ各社が事業執行に専念することにより、グループ経営管理の高度化を図る。

グループ経営管理のPDCAサイクル



持株会社



グループストラクチャー

持株会社である西日本ファイナンシャルホールディングス（以下「西日本FH」）を頂点としたグループ経営管理体制を構築します。西日本FHが司令塔となり、西日本シティ銀行、長崎銀行、九州カード、西日本シティTT証券、NCBリサーチ＆コンサルティング、九州債権回収、西日本信用保証、NTTデータNCBの8社で構成される。

持株会社設立前



持株会社設立後

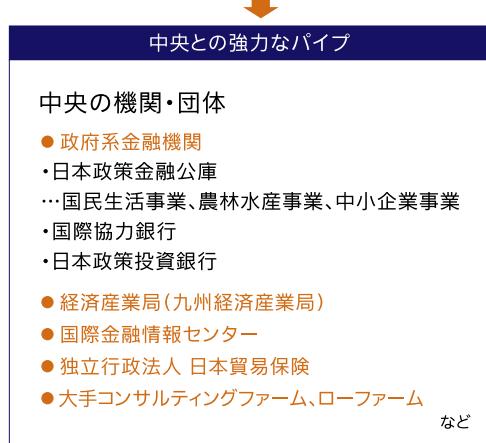


西日本ファイナンシャルホールディングス



グループの規模(連結)[平成28年9月末時点]

総資産	純資産	グループ総預金残高	グループ総貸出金残高	グループ預り資産残高※
9兆3,896億円	4,972億円	7兆4,688億円	6兆6,144億円	9,994億円



株主還元方針

西日本ファイナンシャルホールディングスは、以下のとおり株主還元方針を定めました。
この方針は、株式会社西日本シティ銀行が定めていたものと実質的に変更ありません。

株主の皆さまへの利益還元につきましては、銀行持株会社の公共性と経営の健全性維持の観点から、適正な内部留保の充実による財務体质の強化と株主の皆さまへの安定的な配当の継続実施を基本方針としています。具体的には、1株につき年間25円の安定配当をベースに親会社株主に帰属する当期純利益の25%程度を利益還元額の当面の目安とし、その時々の経済情勢や財務状況、業績見通し等を勘案しつつ、実施することとしています。

グループの全体像

グループ各社は、各社の特長・強みに加え、中央・海外との強力なパイプを有しており、これらを持株会社体制のもとで最大限発揮・活用することにより、「地域経

济へのさらなる貢献」と「グループ企業価値の最大化」を目指します。

日本シティ銀行、長崎銀行、九州カード、西日本シティTT証券、NCBリサーチ＆コンサルティング、九州債権回収および西日本信用保証を横断的に俯瞰しながら、その舵取りを行います。

ホールディングス（以下「西日本FH」）を頂点としたグループ経営管理体制を構築します。西日本FHが司令塔となり、西日本シティ銀行、長崎銀行、九州カード、西日本シティTT証券、NCBリサーチ＆コンサルティング、九州債権回収、西日本信用保証、NTTデータNCBの8社で構成される。

西日本フィナンシャルホールディングスの各社をご紹介します。

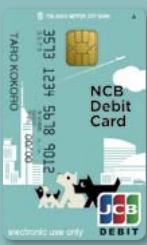
西日本シティ銀行

西日本シティ銀行アプリ



19万ダウンロード突破
(平成28年9月末時点)

NCBデビット



詳細は本誌P15~16へ

先進的な商品・サービス

- ▶ アプリなど充実したデジタルチャネル
- ▶ NCBポイントサービス
- ▶ 多様な商品ラインナップ



豊富な専門チャネル

- ▶ ローン営業室、NCBローンプラザ
- ▶ NCBいつでもプラザ
- ▶ NCBほけんプラザ



高度なソリューション

- ▶ 医療・国際・農業等の専門スタッフによる高度なコンサルティング営業
- ▶ 農林漁業6次産業化ファンド、QBファンドなど各種ファンドへの取組み
- ▶ 各種セミナーの開催



地方創生への能動的な取組み

- ▶ 各地公体と「地方創生に関する包括協定」を締結
- ▶ 創業支援サービスや「移住促進応援住宅ローン」等の商品提供
- ▶ インバウンドビジネスへの支援

地域との共栄

- ▶ 博多どんたくなど伝統行事への参加
- ▶ 金融リテラシー教育への継続的な取組み

長崎銀行

● 地域に根ざした歴史ある銀行

- ▶ 大正元年創業以来、地域密着型営業を展開し、長崎とともに成長

本店所在地	長崎県長崎市栄町3番14号
代表者	代表取締役頭取 山本一雄
事業内容	銀行業
総資産	2,669億円
資本金	61億円
総預金	2,502億円
総貸出金	2,320億円
預り資産残高	458億円



九州カード

● 海外カードとの提携

- ▶ VISA・JCB等の世界ブランドに加え、中国銀聯・シンハングードといったアジアブランドとも提携



● 厚い取引基盤

- ▶ 全国地銀系カード会社の中で会員数・加盟店・取扱高No.1

本店所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目3番18号 サンライフセンタービル7階
代表者	代表取締役社長 小石原 別
事業内容	クレジットカード業・信用保証業
総資産	393億円
資本金	1億円
会員数	868千人
保証残高	1,328億円



西日本シティTT証券

● 営業チャネルの広域展開

- ▶ 銀証一体のビジネスモデルを九州4県で展開

● 高度な資産運用提案

- ▶ 西日本シティ銀行のネットワークと提携先・東海東京証券のノウハウを活用した多種多様な商品提案



営業チャネルの広域展開

本店所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目3番6号
代表者	代表取締役社長 河谷充
事業内容	金融商品取引業
総資産	108億円
資本金	30億円
預り資産残高	1,979億円



NCBリサーチ & コンサルティング

● 豊富なビジネス支援機能

- ▶ 國際経験豊かな専門人財による海外進出支援
- ▶ 各種企業向けセミナーの開催

● ファンドを通じた事業活性化

- ▶ 農林漁業6次産業化ファンドなどの各種ファンドを運営管理



アジアへの扉
(アジアビジネス支援の総合サイト)

本店所在地	福岡県福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル13階
代表者	代表取締役社長 光富 彰
事業内容	調査研究業・経営相談業
総資産	7億円
資本金	0.2億円
会員数	3.9千社



九州債権回収

● 債権の買取・管理・回収

- ▶ 債権の買取・管理・回収業務及び担保不動産の処分の受託業務を展開

本店所在地	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目5番19号 サンライフ第三ビル3階
代表者	代表取締役社長 北崎 道治
事業内容	債権管理回収業
総資産	31億円
資本金	5億円



西日本信用保証

● 住宅ローン保証業務

- ▶ 西日本シティ銀行、長崎銀行の住宅ローン保証業務などを受託

本店所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号
代表者	代表取締役社長 川上 知昭
事業内容	信用保証業
総資産	129億円
資本金	0.5億円
保証残高	1兆2,163億円



NTTデータNCB

本店所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目17番21号 NTTDATA博多駅前ビル7階
代表者	代表取締役社長 大谷 温仁
事業内容	情報システムサービス業
総資産	28億円
資本金	0.5億円

※各種計数は平成28年9月末時点の単体計数です。※NTTデータNCBは、持分法適用子会社です。

博多三大祭のひとつ・放生会

福博の人々が 千年愛した秋祭り

毎年9月12～18日の一週間、筥崎宮で開催される「筥崎宮放生会」。

約500もの露店がズラリと並び、来場者は100万人以上にも及ぶ、山笠、どんたくと並ぶ博多三大祭りのひとつです。

その歴史を辿ると、なんと1000年以上も前に起源がありました。

ここまで長い間、廃れることなく愛され続けた理由とは?



ただの秋祭りじゃない！ 仏教に由来を持つ、 由緒正しいお祭り。

筥崎宮だけでなく、各地の神社で秋の一大祭りとして催されている放生会。毎年たくさんの露店が軒を連ね多くの人で賑わいますが、本来の目的は「万物の生命を慈しみ殺生を戒める」こと。筥崎宮の放生会でも、供養祈願祭や稚魚・鳩の放生などさまざまな放生神事が行われており、一時は祭りの間、漁や煮物の販売を禁止した時期もあったそうです。

放生会は、もともと「殺生戒」に基いて古くから行われていた仏教の習慣でした。それが神仏習合の時代、八幡様の總本宮である宇佐神宮でも行われたのを始まりと

して、各地の八幡宮に広がったとされています。宇佐神宮で初めて行われたのが720年、隼人討伐の際に失われた命を慰めるために行われたと伝えられており、



その呼び名に「應えて戦後1956年、おおやけに「放生会」の名称が使われ、放生神事も復活を遂げたのです。放生会1000年の歴史は、どんな世の中でも祭りを止めなかつた福博の人々の熱い祭り愛の歴史でもあります。

昔ながらの行事に出かけて、歴史と伝統を感じよう。

筥崎宮の放生会では、「御神幸」と呼ばれる御神輿行列が西暦の奇数年に行われています。9月1日の注連卸し・神輿潔めに始まり、12日の午前0時に神輿への神靈遷し、同日夕方に3体の神輿が本宮をスタートし約4時間かけて氏子地域を巡幸

したのち、筥崎浜頓宮に遷御します(お下り)。そこで1泊して翌日14日、お下りとは逆の巡路で本宮に戻ります(お上り)。他所の御神幸の多くが昼に行われるのに対し、筥崎宮の御神幸は夜間に長時間かけて行われるところに古態を残しており、その貴重さから福岡市無形民俗文化財にも指定されています。

また江戸期あたりから、祭り期間中に町内や商店ごとにご馳走や食器等をつめた長持ちを担いで博多から筥崎まで歩き、到着すると松の枝に幕を張り宴会を開く「幕出し」という風習も行われていました。最盛期には200組ものグループが飲めや歌えやの賑わいだったといいます。女性

たちは衣替えの季節ということもあります

「放生会着物(ぎもん)」を新調し、特別にお洒落をして祭りに出かけました。当時、妻や娘に「放生会着物」を買ってあげられないことは博多の男の恥で、福岡市内の呉服のほとんどが売り切れてしまうほど

だったとも伝えられており、当時の人々の放生会に対する熱意やその経済効果は相当なものだったと伺えます。その後、明治・大正頃になると電車の開通や、松が枯れるなどの理由で「幕出し」は廃れていたのですが、1975年に博多町人文化連盟が復活させ、今も当時の様子を垣間見ることができます。

◀ 石燈籠

豊臣秀吉が九州平定後に開いた茶会の際、千利休によって奉納されたと伝えられる石燈籠。重要文化財に指定されており、普段は非公開ですが、放生会期間中のみ見学可能です。



1)放生神事のひとつ「稚魚の放生」の様子。
2)2年に一度の御神幸。お上り最後の勇壮な“走り込み”は見応えあり。
3)「放生会大祭」の様子。米や酒、果物などが奉納される。
4)博多町人文化連盟によって復活した「幕出し」
5)巫女による舞の奉納。

2016年のテーマは
“日本の和食”
放生会はじき



吹くときの音が
名前の由来
博多チャンポン



運が良ければ
豪華賞品GET!
鳩みくじ



博多の
“秋の味覚”はコレ
新しょうが



筥崎宮放生会 おみやげ図鑑

いくつ知ってる?
放生会名物の意外なまめ知識。

たくさんのおみやげが並ぶ放生会。そのなかでも特に人気なのが毎年、発売から数時間で完売してしまう「放生会はじき」です。おはじきは、「厄災をはじく」として古くからお守りにされてきましたが、筥崎宮放生会のおはじき最大の魅力は、白彫会所属の博多人形師が人形制作と同じ行程でひとつひとつ手作りしていること。その年に沿ったテーマが設けられるので、毎年新鮮に楽しめるのも人気の理由のひとつでしょう。おなじく工芸土産では「博多チャンポン」も人気。明治期頃から露店で売り出され、特に女性に人気がありましたが、粗悪品の横行などが原因で一時は姿を消したことも。しかし1971年の宮司の尽力により復活。チャンポンの絵付けはすべて巫女の手によって行われています。当たり付きのおみくじ「鳩みくじ」は、放生会と正月期間中にしか発売されないレアなおみくじ。また、葉付きが珍しい「新しょうが」は、箱崎一帯がしょうがの産地だった頃のなごりで、放生会名物として定着したと言われています。

新しい支払いの力タチ、できました。

現金とカードのメリットを“良いと”“悪いと”した、新しいカードのご案内です。

クレジット・現金に継ぐ
新たな選択肢、
NCBデビット誕生！

西日本シティ銀行では、平成28年10月より、現金感覚で使えるカード「NCBデビット」の発行を開始しました。「NCBデビット」(デビットカード)とは、カードを使つたその場で銀行の預金口座からお金が引き落とされる便利なカードです。

後からまとめて請求がくるクレジットカードに比べて収支の流れが解りやすく、現金を持ち歩く煩わしさや余計なATM手数料からも開放される、まさに現金の解りやすさとカードのスマートさを兼ね備えた新しいカードなのです。

西日本シティ銀行の口座をお持ちの方なら審査なしで誰でも※作れます。これまで現金派だったあなたも、クレジット派だったあなたも、この機会にぜひ新たな選択肢「NCBデビット」を検討してみませんか？

※15歳以上(中学生除く)



【こんなあなたにNCBデビットがおすすめ!】

☑これまで現金派だったあなたに!

ネットショッピングにも使える

スマホやパソコンでのネットショッピングの際も1クリックで決済完了。払込手数料や代引き手数料ともサヨナラです。

審査なしで発行可能

西日本シティ銀行の口座があれば、審査なしで誰でも※発行できるので、学生など、これまで欲しくてもカードが持てなかつたという方におすすめです。

※15歳以上(中学生除く)

おトクなポイントも貯まる

NCBデビットで買い物をすると、素敵な商品と交換できるポイント付与や、キャッシュバックがあり、現金と比べておトクです。

高校生の
僕でも作れる
カードなんだ! /



☑しっかり家計管理したいあなたに!

収支の流れが解りやすい

後からまとめて請求がくるためいつ何に使ったのかが解りにくいクレジットに比べ、即時引き落としのNCBデビットはお金の流れが一目瞭然です。

使いすぎが防げて安心

預金口座に入金されている金額以上は使うことができない上、自分で限度額を設定することもできるので、うっかり使いすぎてしまう心配がありません。

アプリでいつでも収支確認

「西日本シティ銀行アプリ」を使えば、記帳しなくてもご利用明細が確認可能。ご自宅で家計簿をつけたり、入出金を確かめたいときに便利です。

クレジットみたいに
まとめて請求が
こないから安心ね。 /



☑海外に行くことが多いあなたに!

世界中の加盟店で使える

国内だけではなく海外の加盟店でも使えるので、海外に行く際もNCBデビット一枚あればOK!少しでも余計な荷物を減らしたい旅におすすめです。

海外ATMで引き落とせる

カードが使えない店や、現地で外貨が足りなくなったときも安心。NCBデビットがあれば、海外ATMで、日本円の預金から現地の通貨が引き出せます。

各種保険付きで安心

旅行傷害保険(国内・海外)とショッピングガード保険(海外)が付いているので、万が一の場合も大丈夫。安心して海外の旅を楽しむことができます。

面倒な外貨両替も
不要になるのか! /



カードデザインは、 福岡の街を歩くワンクファミリー!

オールインワンカードでもおなじみの、イメージキャラクター「ワンクファミリー」がNCBデビットカードにも登場!日本を代表するデザイン・スタジオであり、「ワンクファミリー」の生みの親であるGROOVISIONS監修のもと、財布から取り出すたびにうれしくなるようなキュートなデザインが完成しました。



GROOVISIONS

グラフィックを中心に、音楽、出版、プロダクト、ウェブなど多様な領域で活躍する東京のデザイン・スタジオ。西日本シティ銀行では、2005年、ALL IN ONEカードを手がけて以来、CM、広報物などのデザイン監修を担当している。

※サービスの詳細は、西日本シティ銀行のホームページをご確認ください。(平成28年10月1日現在)

海外ビジネスサポートへの取組み

年々高まる地元企業の海外ビジネスニーズにお応えするため、グループ一体となって取り組んでいます。

アジアを中心とした
海外展開ニーズを、
まるごとサポート。

田代ましの経済成長を遂げているアジア

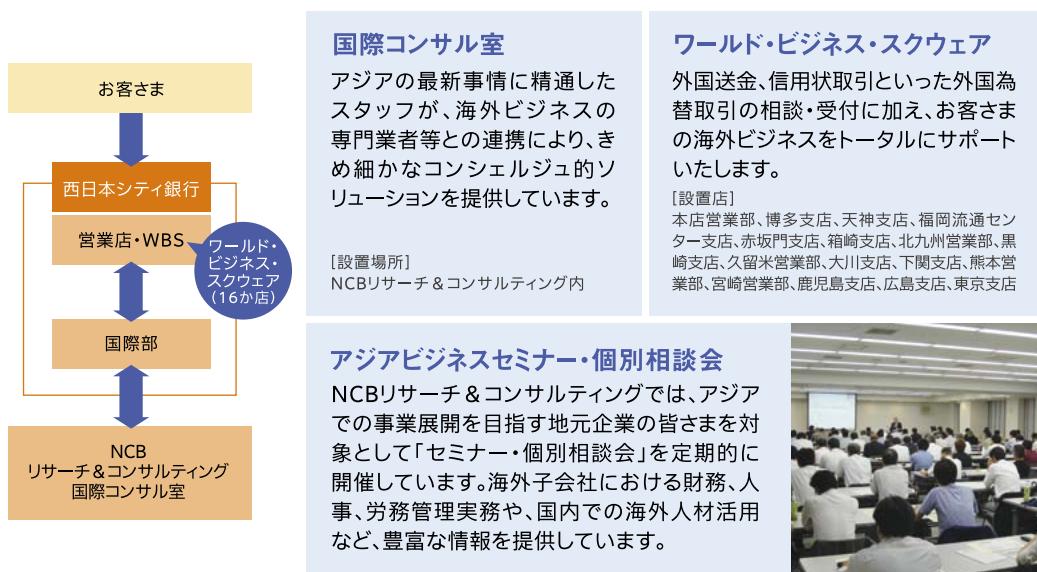
への海外展開ニーズは年々高まっています。

西日本フィナンシャルホールディングスは、特にアジアを中心とした海外ビジネスに関する地元企業のニーズにお応えすべく、現地の企業や国際業務経験の豊富な専門家とのアライアンスによる、金融サポートの枠を超えたコンサルティングを行うとともに、先進的な商品・サービスを展開しています。



西日本フィナンシャルホールディングスの海外ビジネスサポート体制

西日本シティ銀行の一部の営業店にワールド・ビジネス・スクウェア(WBS)、NCBリサーチ＆コンサルティング内に設置した国際コンサル室など西日本フィナンシャルホールディングスグループが一体となってお客様の海外ビジネスをサポートいたします。



西日本シティ銀行の海外ネットワーク

ソウル、上海、香港の駐在員事務所のほか、提携している海外金融機関のネットワークを活かし、お客様をバックアップいたします。

シンガポール駐在員事務所の開設について

設置目的	増加するアセアンへの進出・貿易に関する相談への対応
設置時期(予定)	平成29年3月を目標
業務内容	海外現地金融・経済・産業情報の発信、取引先の進出支援、アテンド業務、販路・調達先開拓の支援等
担当地域・国	アセアン全域、インド、豪州等

横浜銀行との「海外ビジネス支援業務における基本合意書」の締結について

締結目的	海外拠点機能の相互活用、両行が単独では拠点を持たない国・地域に海外展開するお客様への支援体制の強化	<両行の海外拠点>						
		アジア					欧米	
締結内容	両行が有する海外現地情報・海外拠点機能の相互活用、セミナーの共同開催など	上海	香港	ソウル	バンコク	シンガポール	ロンドン	ニューヨーク
		○	○	○		○	※	
		◎	○		○		○	○

○海外支店 ○海外駐在員事務所 ※平成28年9月に現地金融当局より開設認可を取得済。

アジアへの扉



ウェブサイト

NCBリサーチ & コンサルティングの総合ウェブサイト「アジアへの扉」は、地元企業のアジアビジネスをサポートする総合サイトです。ウェブサイトを通じて、アジアの情報発信やコンサルティングを行っています。<http://www.johoza.co.jp/asia/>



テレビ番組

地元九州の企業の海外ビジネスを応援し、紹介する番組です。毎週日曜日午後5時25分よりテレビ西日本にて放映中。ホームページでは過去の放送番組もご覧になれます。

<http://www.tnc.co.jp/tobira/>

NCB外為スーパーダイレクト・NCBダイレクト為替予約

銀行にご来店することなく、インターネット上で「外国送金」、「被仕向送金」、「輸入信用状の開設・条件変更」、「外貨預金振替」、「外国為替予約」の申込・照会など、幅広い外為取引が可能です。



NCB外為スーパーダイレクトの特徴

- インターネット経由で外国送金、被仕向送金、輸入信用状の開設・条件変更、外貨預金振替の申込・照会が可能
- 人民元建て取引も可能
- 外為事務の省力化・効率化をサポート



NCBダイレクト為替予約の特徴

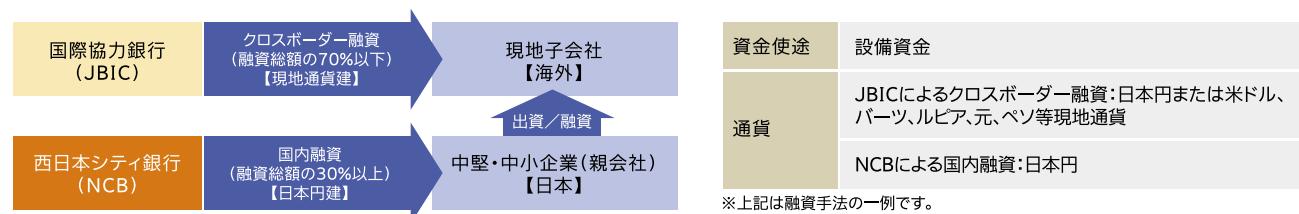
- インターネット経由で外国為替予約の取引や照会が可能
- リープオーダー(指値注文)も可能
- 人民元建て為替予約も可能
- 為替予約業務の省力化・効率化をサポート

海外現地法人向け資金融資手法

多様化する地元企業の海外事業展開に関する資金ニーズにお応えするため、業務提携先である国際協力銀行(JBIC)との協調融資のご提案を行っています。

代表的なスキーム

JBICが海外現地子会社の長期資金ニーズを現地通貨建で、西日本シティ銀行が国内親会社に円建で融資を行います。



福岡はアジアの主要都市に近い!



グラフで見る動向 Trend Watch

九州企業の輸出入相手国・地域は中国がトップとなっています。

九州の輸出相手国・地域(2015年)

順位	相手国	比率
1	中国	21.3%
2	韓国	11.9%
3	米国	11.4%
4	台湾	6.6%
5	香港	4.5%
6	シンガポール	3.9%
7	タイ	2.9%
8	アラブ首長国連邦	2.6%
9	メキシコ	2.4%
10	オランダ	2.3%

九州の輸入相手国・地域(2015年)

順位	相手国	比率
1	中国	19.3%
2	オーストラリア	10.2%
3	サウジアラビア	7.9%
4	アラブ首長国連邦	5.5%
5	米国	5.5%
6	インドネシア	5.0%
7	台湾	5.0%
8	韓国	4.8%
9	ロシア	3.4%
10	タイ	3.0%

出所：九州経済産業局「九州経済国際化データ 2016」

子どもたちの未来を社会で育もう。

子どもたちの育成と地域貢献について、西日本シティ銀行頭取と各界のキーパーソンに語っていただきました。

環境や教育、社会問題など時代を取巻く状況が変化する中、今、特に子どもたちへの取組みに関心が高まっている。地域の文化支援に積極的に励んできた西日本シティ銀行の頭取・谷川浩道と、劇団四季の吉谷昭雄氏、そして読み聞かせ活動などで子どもたちの育成に関わり、パーソナリティとしても活躍する徳永玲子氏に、これまでの活動と子どもたちへの思いについて聞いた。

—約25年前、福岡シティ銀行が劇団四季のミュージカル『キャッツ』を福岡に招致したのは

地方銀行としては画期的な取組みでした。

谷川 当行の前身行の一つである福岡シティ銀行の頭取であった故四島司氏から全ては始まりました。四島氏は「本業以外に文化面でも地域に貢献することが地方銀行の役割である」という考え方の持ち主。1980年代初頭、初めて『キャッツ』を鑑賞された時、「これこそ福岡に必要な文化だと直感され、劇団四季さんにライブ公演を送ったそうです。

徳永 そうだったんですね。初めて知りました。

谷川 当初、福岡には受け入れる土壤がなく、なかなか実現しなかったそうです。福岡市がよかトピア（1989年のアジア太平洋博覧会）の開催などで文化都市としてのポテンシャルを増していく中、四島氏はすっと『キャッツ』の誘致活動を続けられました。そして、劇団四季の代表だった浅利慶太氏が「九州人の熱い心に期待したい」と決断され、1990年に福岡市・百道浜の特設

テントで『キャッツ』がお披露目されたのです。

徳永 私も友人たとと一緒に鑑賞しました。斬新な衣装や、神出鬼没の猫たちに驚き、歌や踊りの素晴らしさに感激したのを鮮明に覚えています。

吉谷 ありがとうございます。私たちは劇団の理念の一つに文化の一極集中の是正を掲げ、演劇を通して多くの方に人生の素晴らしさや未来への希望をお届けしようと、現在、全国で年間約3千回以上の公演を行っています。

谷川 今年、キナルシティ劇場で上演した『美女と野獣』には九州各地から多数の方が見に来られたとお聞きしています。私も娘や孫と鑑賞させていただきました。もともと私はミュージカルの鑑賞が好きで海外でも数多くの作品を見てきました。ミュージカルの魅力をつくる要素には大きく三つがあるように思っています。一つはセッ

トを含めた劇場という非日常の空間、二つ目が俳優さんの生の息づかいと演技力、そして、三つ目がそれに呼応するような観客との一体感…。

谷川 観客が盛り上がりないと、いくら演技が素晴らしいともひどつとう感じになります。そんな双方の魅力が舞台ならではなんですね。

吉谷 ライブ感や客席との一体感。そんな生の舞台の醍醐味を伝えながら、地域の文化や芸術の発展に寄与ければうれしい限りです。

谷川 二つの前身行は、共に本業である金融面で地域に貢献することはもちろん、地域の文化支援、アジア諸国との交流支援など地道に地域



百道浜に現れたテントは当時、鮮烈な印象を与えた

08年から実施しています。北は北海道・利尻島から南は沖縄県・石垣島や宮古島まで巡演し、例年53万8千人以上の子どもたちに舞台芸術の感動を届けています。本年度は福岡市や北九州市を含む155都市、459回の公演を予定しています。この活動はさまざまな企業の皆さまからの支援協賛で成り立っているものです。西日本シティ銀行さまにも当初から多大なお力添えをいただき感謝しています。



谷川 私は子どもの頃に触れる文化や芸術体験は、生涯決して色あせることのない財産になると考っています。映像で見る映画や音楽なども良いのですが、生で見た感動はより深く心に刻まれる。とりわけ劇団四季さんのミュージカルは、生の迫力に満ちメッセージ性も際立っています。子どもたちの受ける感動や驚きは計り知れません。今後も喜んで協力させていただきます。

—劇団四季では全国の子どもたちに
向けて「こころの劇場」を開催しています。

吉谷 「こころの劇場」は、ファミリーミュージカ

徳永 私は絵本や本の面白さを知る入り口になければ、15年ほど前から子どもたちに読み聞かせをしているのですが、大人が子どもたちの感動や想像力を育む機会を提供することは本当に大切ですね。例え「こんなこと言わいたら悲しいんだよ、とか、こんなことしたら痛いんだよ」と想像する力を芸術や文化が育ててくれると信じています。また、そつとして優しい大人に育ってほしいと思っています。「この劇場」のように一流の俳優さんたちによる一流の舞台が子どもたちの芸術体験の入り口になるのは、とても幸せなことなのではないでしょうか。



パーソナリティー・タレント・キャスター
徳永 玲子氏

吉谷 確かに「この劇場」で初めて「舞台」に触れた子どもたちは多いようです。毎公演、大きな歓声と拍手に包まれ、終演後に出演者がロビーで行うお見送りでは、子どもたちが楽しそうなことなどはないでしょうか。

吉谷 確かに「この劇場」で初めて「舞台」に触れた子どもたちは多いようです。毎公演、大きな歓声と拍手に包まれ、終演後に出演者がロビーで行うお見送りでは、子どもたちが楽しそうなことなどはないでしょうか。

吉谷 確かに「この劇場」で初めて「舞台」に触れた子どもたちは多いようです。毎公演、大きな歓声と拍手に包まれ、終演後に出演者がロビーで行うお見送りでは、子どもたちが楽しそうなことなどはないでしょうか。

子どもたちの感動の輪を、地域の皆さんと共に広げていきたい



劇団四季 俳優
吉谷 昭雄氏

2か所で、銀行員が先生となり、子どもたちにお金の役割や銀行の仕組みなどについて講義や金融クイズを行ってきました。

徳永 それそのためになります。

吉川 10回目今年はより多くの子どもたちに学んでもらおうと、イベント形式で実施しました。平成28年8月27日、28日に福岡市の福岡国際センターで開催した「お金のがっこ」では、当行がオリジナルで製作した金融冊子や模擬紙幣などを使って、2日間で約100人、事前予約制)に楽しく学んでもらいました。また、当口受講できなかつた約500人の子どもたちには制服を着て窓口業務や札勘練習(紙幣の数え方)の体験などをしていただきました。

吉谷 子どもたちの反応はいかがでしたか。

吉川 アンケートでは「お金のことが楽しく勉強ができた」「お金の大切さが分かった」「札勘は難しかつたけど楽しかった」、また保護者の方からも「子どもにお金の大切さを教える良いきっかけになつた」などの声が寄せられ、とても好評でした。

——今後の子どもたちへの支援活動や

その思いなどをお聞かせください。

吉川 芸術文化面はもちろん、大人になって

経済的に自立して暮らしていくために必要な、家計管理や長期的な生活設計などを含む金融リテラシーの教育にも注力していくないと考えています。

徳永 心の教育においては、子どもの頃に演劇や音楽や読書の中の世界で想像することを経験しないと、大人になってからではなかなか難しいのではないかと感じています。登場人物のいろいろな人生を自分に置き換えて想像してみると、そう

重要で、これらを子どもたちに身に付けてもらうためには社会全体で手助けすることが欠かせないと思います。

徳永 子どもたち一人ひとりの夢を叶えるためにも親御さんだけでなく社会全体で子育てをする。そんな社会づくりを私もいろんな活動をしながら一緒に進めていけたらと考えています。

吉谷 子どもたち一人ひとりの夢を叶えるためにも親御さんだけでなく社会全体で子育てをする。そんな社会づくりを私もいろんな活動をしながら一緒に進めていけたらと考えています。



お金の大切さを分かりやすく学ぶ「お金のがっこ」

吉川 リオデジヤネイロでのオリンピック・パラリンピックでは日本の若い選手が大活躍されました。これは、本人の目標へ向かう努力と、周りの手厚いサポートが持続できたことが結果につながったのだと思います。当行も長年「地域との共栄」を目指し、地域にとってより良きサポートであるべく本業での地域振興への貢献はもとより、地元の歴史・文化を通じた支援に積極的に取り組み続けてきました。今後も地元財界の方々とも力を合わせ、地域貢献活動に邁進していきます。そうした中で日本の次代を担う人材が、地元から多数輩出されることが期待しています。

吉谷 「この劇場」では、命の尊さ、人を思いやる心、友達の大切さなど、子どもたちが成長する過程の中でとても大事なものをメッセージとして強く発信しています。それを受け取つてもらう生涯の糧にでもなれたらうれしいですね。

吉川 子どもの教育には「感動する心」「人の気持ちは、社会全体で手助けすることが欠かせないと思います」

子どもたちの教育には
社会全体で手助けすることが
欠かせないと思います



株式会社西日本シティ銀行 取締役頭取
吉川 浩道

地域社会のために、でわわると

私たちは、地域に根ざした企業市民として、地域のため、社会のためにできることを考え、取り組んでいます。

夏休み期間中の子ども向け金融リテラシー教育への取組み

※金融リテラシー教育とは…金融や経済に関する知識や判断力を身につける教育

西日本シティ銀行

ママキッズフェスタ
FUKUOKAで
「第10回お金のがっこく」を開催

平成28年8月27日・28日、福岡市

国際センターで開催されたママ
キッズフェスタin FUKUOKAに
ブースを出展し、「第10回お金のがっ
こく」を開催しました。

本イベントには2日間で、1万2,

000人以上の来場があり、ブー
スはおよそ500名の親子連れで
賑わいました。



ワンクグッズ

お札の数え方

制服を着ての窓口体験

長崎銀行

「ながさきサマースクール
「お金のがっこく」、「
「金融セミナー」を開催

平成28年8月2日に「ながさき

サマースクール～お金のがっこく
～」を長崎銀行本店及び別館で開
催し、小学校5・6年生とその保護
者7組が参加しました。子どもた
ちは「お金のがっこく」や、お金や銀
行の役割についてクイズ形式で樂
しく学んだあと、窓口体験や1億

円の重さの体験等を通して、銀行の
仕組みやお金の大切さについて学
びました。また、保護者の皆さんに
は、「金融セミナー」を開き、ライフ
プランニングについての理解を深め

ていただきました。



ワンクのぬり絵展

お金のがっこく



銀行窓口体験

全員で記念撮影

億円の重さ体験などを行いました。
を着ての窓口体験や写真撮影、1
億円の重さ体験などを行いました。

ブースでは、各商業店から集め
られたおよそ480名のワンクの
ぬり絵を展示し、お金や銀行のこ
とを学ぶ「お金のがっこく」や、制服
を着ての窓口体験や写真撮影、1
億円の重さ体験などを行いました。

環境美化活動への取組み



平成28年10月20日に、グループ各社の職員が、地域の皆さんと一緒にJR博多駅周辺の清掃を行いました。また、西日本シティ銀行の営業店では、地域の皆さまへの口頭の感謝の思いを込めて、店周りや地元商店街などを清掃しました。



平成28年8月7日には、地域の環境美化のため、毎年長崎市で行われる「市民大清掃」に多くの役職員が参加し、本店近くにある観光スポットの「眼鏡橋」周辺をはじめとして本支店周辺を清掃しました。

長崎銀行

「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」を開催しました。

西日本シティ銀行



香椎宮雅楽

西日本シティ銀行は、公益財団法人福岡文化財団（理事長 久保田 勇夫）との共催により、地域社会づくりに寄与するさまざまな文化事業を支援しています。その一環として、地域で継承されている神楽や神舞を紹介する「日本の神

様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」を平成28年11月3日に開催しました。地域の伝統行事として継承されている福岡市東区の香椎宮雅楽をはじめとし、福岡各地域（朝倉郡、糸島市、筑紫野市）の神楽が披露されました。



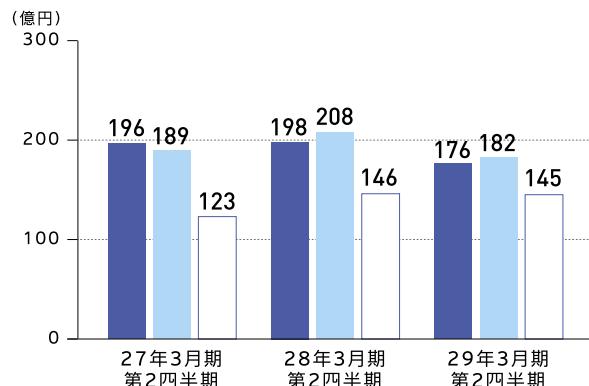
山家岩戸神樂

久保田理事長による挨拶

損益の状況(NCB単体・NCB連結)

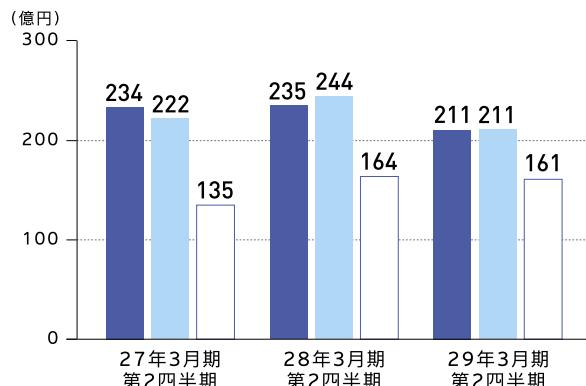
- 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)・経常利益・中間純利益(NCB単体)

■ 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)
経常利益 □ 中間純利益



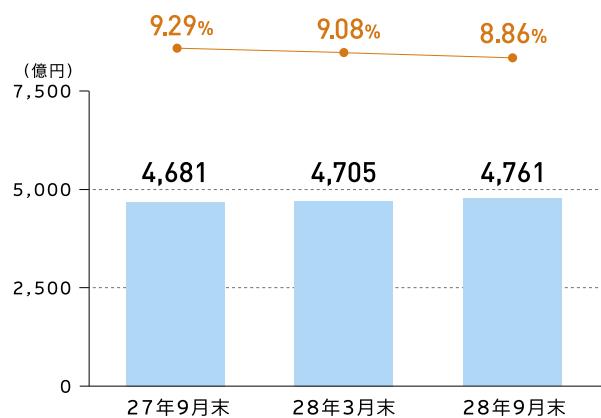
- 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前)・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益(NCB連結)

■ 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前) ■ 経常利益
□ 親会社株主に帰属する中間純利益



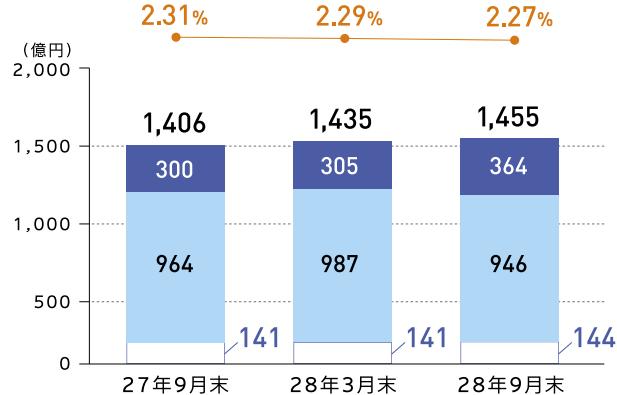
自己資本比率(国内基準)の状況(NCB連結)

—●— 自己資本比率 ■ 自己資本



金融再生法開示債権の状況(NCB単体)

—●— 金融再生法開示債権比率 ■ 要管理債権 ■ 危険債権 □ 破産更生債権等



用語説明

◎業務純益

預貸金業務などによる“資金利益”や投資信託等の販売手数料などの“役務取引等利益”などを含む“業務粗利益”から“経費”を差し引いたもので、銀行本来業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

$$\text{業務純益} = \text{業務粗利益} - \text{経費}$$

◎自己資本比率

銀行の健全性を示す指標の一つです。国内基準で4%以上を維持することが求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本(資本金など)}}{\text{リスク度合を考慮した資産}} \times 100$$

◎破産更生債権等

破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権等

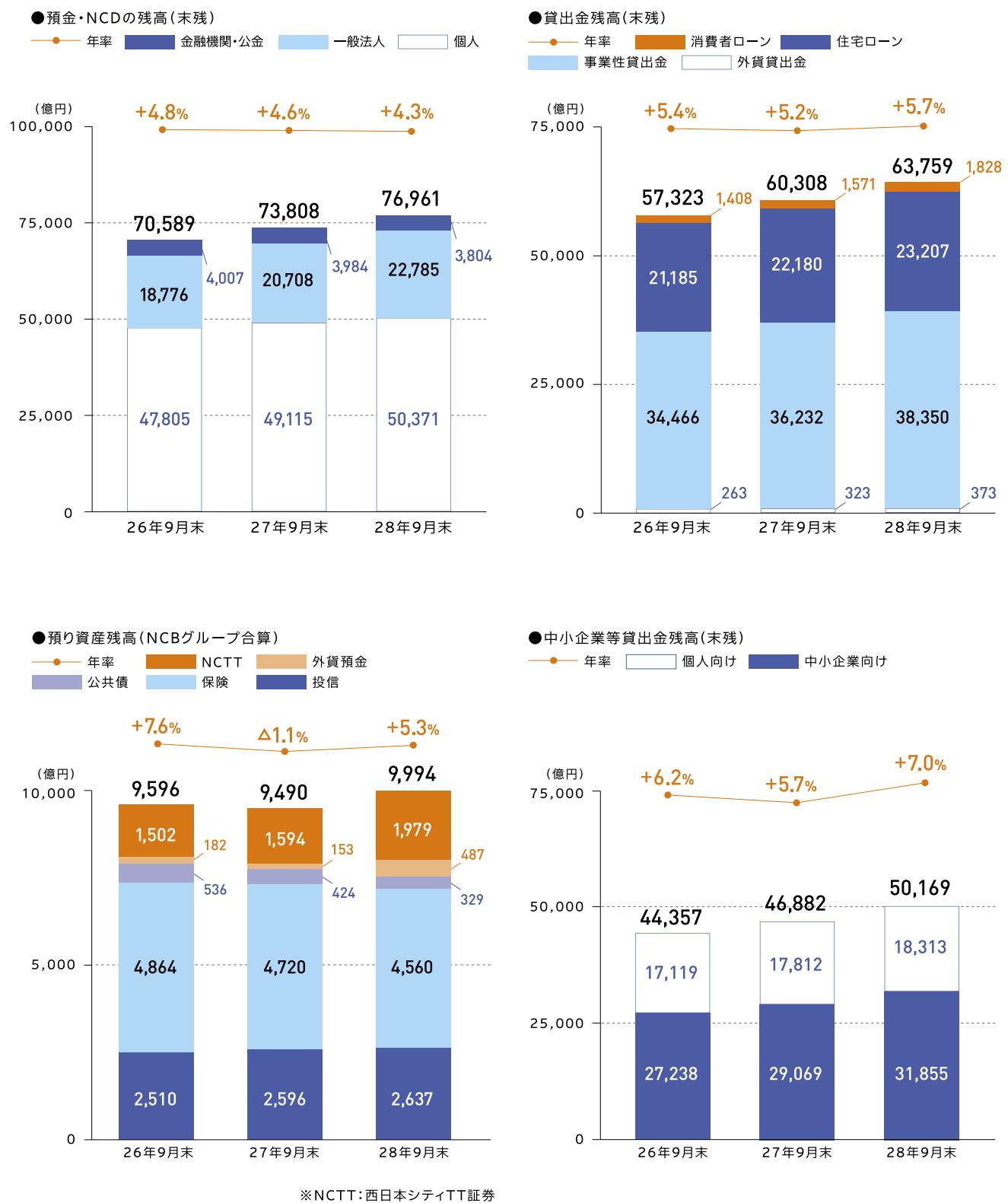
◎危険債権

債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財務状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることが難しくなる可能性の高い債権

◎要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

預金・預り資産、貸出金の状況(NCB単体・NCBグループ合算)



NCBグループ合算	=	西日本シティ銀行単体	+	長崎銀行単体	+	西日本シティTT証券
NCB連結	=	西日本シティ銀行連結				
NCB単体	=	西日本シティ銀行単体				

安心に向けて取り組んでいます

インターネットバンキングのセキュリティ対策強化に向けた取組み

銀行のシステム対策例

NCBダイレクト（個人のお客さま向け）では、普段とは異なるパソコンから接続された場合は「合言葉」による追加認証を行う等、犯罪者の不正利用を防止するためのさまざまな対策に取り組んでいます。特に当行は、安全性が飛躍的に向上する「ワンタイムパスワード」の携帯・スマートフォンアプリ（ソフトトークン）を提供しており、お客様のご利用を強くお勧めしています。携帯・スマートフォンをお持ちでないお客様には、キーホルダー型のワンタイムパスワード生成機（ハードトークン）をお勧めしています。



ソフトトークン

お客様ご利用のパソコンへの対策例
当行ホームページでは、偽サイトへの誘導（フィッシング）や、ウイルス（スパイウェア）による

パスワード等の窃取を防止する、「不正送金対策ソフト」を無料で配布しています。

お客様への注意喚起

お客様自身の被害防止への意識向上のため、次のような注意喚起を行っています。

- ① セキュリティ対策ソフトの導入及び定期的なスクヤンと、OS「グラウザ等の他のソフトも含めた最新化。
- ② パスワード等の定期的な変更や、取引結果メールの通知先・振込限度額の見直し。
- ③ 承認機能の利用（NCBビジネスダイレクトのお客さま）。
- ④ パソコンを利用しない時のログアウトや回線の切断電源オフの励行。
- ⑤ 不審なWebサイトやメールは絶対に閲覧・開封しない。
- ⑥ 不審な画面が表示された場合、パスワード等は絶対に入力しない。等

障がいのあるお客様に配慮した取組み

コミュニケーション補助ツールの設置

障がいのあるお客様とのコミュニケーションを円滑にするため、全ての営業店に耳マーク表示板・簡易筆談器・携帯助聴器・コミュニケーションボードを設置しています。

視覚障がい者対応（受話器型操作機付）
ATMの設置

全ての営業店に1台以上、店舗外ATMコーナーとあわせて合計711台（平成28年9月末現在）の視覚障がい者対応ATMを設置しています。

二セ電話詐欺（振り込め詐欺）の被害未然防止に向けた取組み

年々、巧妙化する特殊詐欺の被害が拡大していることを受けて、当行では、「二セ電話詐欺」の未然防止に努めています。

携帯電話をしながらATMをご利用のお客さまや、窓口での出金のお客さまには、金融犯罪被害を防止する観点から、行員がお声かけをさせていただくことがありますので、何卒ご理解の程お願いします。



点字文書の無料郵送サービス

取引店窓口に直接または電話でのお申込により、左記の取引明細等を点字で作成し、ご自宅宛に郵送するサービスを実施しています。

【対象取引】普通預金・貯蓄預金取引明細の通知（1か月単位で送付）、定期預金満期の通知（満期日到来の都度送付）

その他、窓口振込手数料の優遇や代筆・代読の

ご対応を実施しています。詳しくは、お気軽に取引店窓口にお問い合わせください。

ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎西日本シティ銀行お客様サービス室

0120-162-105 または **FAX.092-461-1916**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00
(祝日及び銀行休業日は除きます)

24時間

◎西日本シティ銀行の本支店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談（振り込め詐欺・預金不正引出し等）

◎金融犯罪被害に関する相談窓口

0120-797-919

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00(祝日及び銀行休業日は除きます)

●金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または **TEL.03-5252-3772**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00(祝日及び銀行休業日は除きます)

◎信託協会 信託相談所

0120-817335 または **TEL.03-6206-3988**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:15(祝日及び銀行休業日は除きます)

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口及びビジネスサポートセンター、NCBいつでもプラザ（インストアプランチ）、ローン営業室においてご相談・お申込みください。

プロフィール

商号	株式会社西日本ファイナンシャルホールディングス	商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	平成28年10月3日	設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号	本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
資本金	500億円	資本金	857億円
事業内容	銀行その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理およびこれに付帯関連する一切の業務		
決算期	3月31日		
上場証券取引所	東京証券取引所及び福岡証券取引所		
単元株式数	100株		
	(平成28年10月3日現在)		(平成28年9月30日現在)

ネットワーク



店舗数186か店

福岡県／161店 鹿児島県／1店
佐賀県／4店 山口県／2店
長崎県／3店 広島県／2店
熊本県／2店 岡山県／1店
大分県／5店 東京都／1店
宮崎県／3店 大阪府／1店

海外駐在員事務所3か所

ソウル駐在員事務所
上海駐在員事務所
香港駐在員事務所

ATM／1,342台
店舗内872台
店舗外470台
※コンビニATM除く

提携金融機関

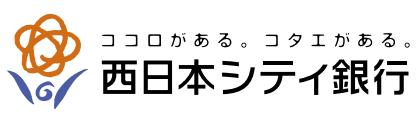
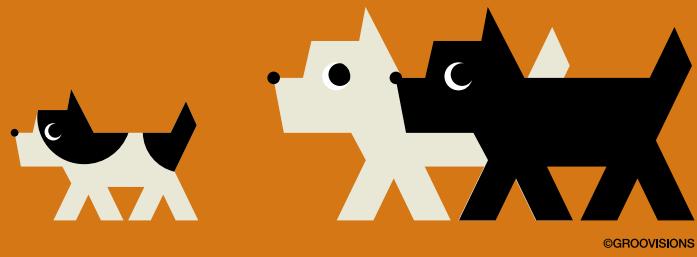
りそなブルダニア銀行(インドネシア)平成8年提携
中国銀行(中国)平成13年提携
国際協力銀行(日本)平成13年提携
新韓銀行(韓国)平成19年提携
OCB(ベトナム)平成20年提携
BNPパリバ(ベトナム)平成20年提携
バンコック銀行(タイ)平成21年提携
横浜銀行(日本)平成28年提携

(平成28年9月30日現在)

※計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

平成28年12月発行

株式会社西日本ファイナンシャルホールディングス 経営企画部 総務広報グループ
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
TEL 092-476-5050(代表) ホームページ <http://www.nnfh.co.jp>



西日本シティ銀行グループは、西日本フィナンシャルホールディングスグループとして新たにスタートしました。